

◆株式会社妙徳

事業内容	空圧機器・真空機器装置及び部品の製造並びに販売
所在地	本社：東京都大田区 他 11 営業所、2 事業所（生産工場）
従業員数	妙徳単体：162 名、グループ全体：179 名
主な制度・取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 2007 年 11 月に岩手事業所内（メイン工場で女性社員、子育て中の従業員も多い事業所）に託児所を開設。利用は、同社の従業員であれば誰でもよく、正社員には限定していない。利用料は無料。 ▶ また、18 時以降の残業は原則禁止。残業するには事前申請が必要。時間内に終わらせるために、就業時間を変更したり、外部からの電話対応のためのコールセンターを設置。最終退室者は、メールで全社に向けて終了時間を発信。 ▶ さらに有給休暇の取得を進めるために、四半期に 1 回、5 日間の連続休暇の取得を社員全員に推奨するとともに、従業員の休暇予定は社内ですべて公開。
マネジメントについて	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ワーク・ライフ・バランスそのものが目的ではなく、効率化、業務改善をしていくいろいろな施策が、結果的に、ワーク・ライフ・バランスへの取組という形で評価を得てきた。人材という財産をどう使っていくかを考え、働きやすい環境を作る、労働時間を減らす、託児所を作って育児中の社員が働きやすくする、という施策に取り組んできた。 ▶ 会社の上場を目指すにあたって管理体制の整備や外部の指摘というきっかけもあり、社長の指示により、会社が余暇の時間まで奪ってしまうような働き方をやめるべく、それまでの残業をするのが当たり前という体質自体の改善に取り組んだ。 ▶ トップダウンである以上、社長自ら発信して実践する。5S 活動、定時退社など、強い意思を持って行動している。会社が無理にでも「今日は何時に帰らなさい」としなければ、水曜日のみ定時退社デー、などとしていると、他の日にずれ込んだり、イレギュラーがどんどん発生してしまう。したがって、退社時間も徐々に前倒しにして、従業員の体のリズムを馴染ませてきた。 ▶ 従業員の意見を積極的に聞いて、というより、会社として考え、提案していく。従業員の意見を聞く場もあるが、なかなか言いにくいようである。 ▶ 評価については、有給休暇の取得状況が、昇進や昇格に影響することは無い。 ▶ 生産現場における多能工化の推進を行っている。その他、職場においても、上司と部下、同僚間において業務を補いしあう職場作りを行っている。
コスト・メリットについて	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 各種メディアに取り上げられることによる PR 効果や IR 効果はあると考えている。また地域においても、あの会社は託児所があるという認識、良いイメージが広まれば、あの会社に働きたい、という人も増え、最終的に会社にとってプラスになるはずである。 ▶ ただし採用に関しては、上場企業だから応募してきているのか、それとも働きやすさを評価して応募してきているのかは分からない。 ▶ また、離職率が低下しているので、従業員の満足度も上がっていると思われる。加えて、働きやすきの制度整備と同時に労働環境の改善も行ったので、従業員の士気の向上にもつながっているはずである。 ▶ 事業所内保育所の設置コストとして 500 万円（土地代含まず、備品込み）、ランニングコストとして、保育士 2 名（35 万円/月）、光熱費等 5 万円/月がかかっている。